

「地方自治の発展と基幹産業の振興に尽力」

金杉國徳さん(余別町)が 旭日単光章を受章

元議会議員の金杉國徳さん(余別町88歳)が7月1日付けで、高齢者叙勲の旭日単光章を受章され、7月24日、自宅で松井町長から勲記と勲章が伝達されました。

金杉さんは、昭和48年に積丹町議会議員に初当選以来、平成5年までの5期20年間にわたり、当町の地方自治の発展と基幹産業の振興に尽力されました。また、監査委員、土地開発公社理事など数多くの公職への就任を通して、地域の振興や町民の融和に貢献され、昭和52年から現在も商店を営みながら交通安全指導員として、地域住民の交通安全運動の先頭に立って活躍されています。



松井町長は「長年のご労苦に敬意を。これからも郷土積丹町、そして余別地区の限らない平和と振興発展に変わらぬご指導とお力添えを。」と祝意を述べられ、金杉さんからは「榮譽ある受章に感謝します。これからも力ラオケ教室への参加を元気の源にして、体力が続く限り、地域社会に貢献したい。」と喜びの言葉とこれからの抱負について、亡きすみ夫人の遺影の前で語っておられました。

地域の誇りでもあるこの受章を心から祝福し、今後ますますのご活躍とご健勝をお祈りいたします。

北海道初の「名誉灯台長」に 成田熊太郎さん(神岬町草内)と小澤清一さん(余別町)

～神威岬灯台を支えた2人～

小樽海上保安部(村田織彦部長)は、「灯台守」の過酷な暮らしと灯台の保守業務に貢献された地域の住民をたたえようと「名誉灯台長」の称号を授与する制度を新設しました。その第1号に成田熊太郎さん(神岬町草内80歳)と小澤清一さん(余別町77歳)が選ばれ、6月28日、美国漁港で開かれた第4回積丹ソーラン味覚祭りの中で『称号授与式』が行われ、村田海上保安部長より「名誉灯台長」の称号が贈られました。

神威岬灯台には明治21年から無人化になる昭和35年まで多い時には5世帯の「灯台守」の海保職員とその家族があの断崖で暮らしていました。成田さんは、灯台守や家族が病気になった時の搬送や、生活物資を小舟に積み替え、さらに食料やまき等を背負って崖下の海辺や山道を登り、神威岬灯台に勤務しそこで暮らす灯台守の仕事と生活を支え、今も浅海漁業に励んでいます。小澤さんは余別郵便局員として郵便物を灯台まで届け、退職後は余別小学校の校下の応援団「まちの道運営委員会」委員長として、神威岬灯台や旧余別村の歴史や文化などを伝える活動をしています。

お二人は灯台守の職員や家族を支えた一方で、今も道内外に在任されている方々と親交を続けられており、地域と灯台の結び付きを強めた功績が認められました。



▲村田海上保安部長から「名誉灯台長」の称号を受ける小澤さん(中央)と成田さん(右)



▲6年ぶりに一般公開された神威岬灯台

◆6月28日に6年ぶりに神威岬灯台が一般公開され、900人余りの観光客が訪れ、高さ12mの灯台のデッキから望む神威岬の絶景を堪能していました。◆

第59回社会を明るくする運動

「非行や犯罪のない明るい社会を願って」
 「あいさつは今日から始まる出発点」
 「だめだよと友ならいえる 勇気出し」

今年で59回目となる「社会を

明るくする運動」が全国的に催

されている7月8日、北後志で

は五町村の保護司や関係者によ

る車両パレードを行い、各町村

への法務大臣と北海道知事から

のメッセージの伝達式などが行

われ、犯罪や非行のない社会づ

くりへの協力を求

めました。

また、強調月間

に合わせ応募され

た町内小中学生1

34人の標語・作

文の中から11名の

小中学生が町入選

作品として決定さ

れました。

一 積丹町標語・作文入選作品 一

◆標語の部◆

【小学生】

金賞「あいさつは 今日が始まる 出発点」
 銀賞「自分には 皆のささえが あってこそ」
 銅賞「君の笑み 笑いごととき みな笑顔」
 佳作「思いやり 人の心を 大切に」
 佳作「家族まつ わが家が一番 あたたかい」

入舩小6年 原藤村坂呂
 美国小5年 小佐芳逢野
 美国小5年 百孝未健大
 美国小3年 花祐羽紀空
 美国小4年 入松齊長

【中学生】

金賞「だめだよと 友ならいえる 勇気出し」
 銀賞「つらいとき 勇気をくれる 君の声」
 銅賞「意味がある 君と僕の 命にも」
 佳作「すぐそこに 助けを求め 友がいる」
 佳作「さりげなく その優しさを 大切に」
 佳作「さりげなく 一言かける 思いやり」

美国中2年 入松齊長
 美国中1年 一美さん
 美国中1年 一美さん
 美国中3年 一美さん
 美国中3年 一美さん

◆作文の部◆

該当なし



第4回 積丹ソーラン味覚祭り

「初夏の積丹 まるかじり」を

キヤッチフレーズにした第4回

積丹ソーラン味覚祭り（実行委

員会主催）が6月28日、美国漁

港広場で行われウニやエビなど

旬の味覚が堪能できるとあつて、

朝早くから小樽・札幌方面から

の行楽客約2万3千人が訪れ、

古平く美国間の国道が渋滞する

など終日賑わいをみせていました。

会場では積丹町の特産品を安

く提供する「浜値朝市」に漁協

や商工会など15店舗が軒を連ね、

その中に姉妹都市提携をしている

の高知県香美市から7名が参加

し「鯉のタタキ」や「刃物」な

どの特産品を販売しました。ま

た直径1

50センチで作る

名物『ジ

ヤンポ浜

鍋』は大

好評で用

意してい

た3千人



丸」の周
 りには大
 勢の人が
 取り囲み
 息の合っ
 た踊りに
 なりまし
 た。

近藤豊幸 教育長が退任されました



町の教育行政の運営に
 尽くされてきた近藤教育
 長が、6月30日に1期4
 年の任期を終え退任され
 ました。

■ご挨拶■

昭和48年に枝幸町役場
 から生まれ故郷である積
 丹町役場に奉職以来、町
 民の皆様と同僚などから
 ご理解ご協力と温かいご
 支援の下に、通算40年間

に亘り職責を全うするこ
 とができました。心から
 感謝とお礼を申し上げます。

分が昼過ぎで売り切れる盛況ぶ
 りでした。一方、ステージでは、
 平岸天神の演舞をはじめ自衛隊
 音楽隊、松前神楽、大道芸、バ
 ンド演奏など披露され、特に
 「ソーラン輪踊り」では地元女
 性団体を先頭に来場者やよさこ
 いの踊り子も加わり「ソーラン

最後の花火大会では、会場の
 あちらこちらから大きな拍手と
 声があき起こり、積丹の初夏の
 夜空を華麗に彩りイベントを締
 めくくりました。

ます。

特に教育行政に携わった4
 年間、教育委員会の勤務は初
 めてであり、教育の難しさに
 日々悩みました。教育委員会
 が厳しく困難な多くの課題を
 抱える今日、その克服には、
 教育行政に携わる全ての職員
 はもちろんのこと、町職員の
 職域を超えた連携と協力が不
 可欠と考えます。

これからは、町民として積
 丹町の発展のために微力なが
 ら精進努力して参りたいと思
 います。今後とも変わらぬご
 交誼を賜りますようお願い申
 上げます。

郷土積丹町の限らない発展
 を心から祈念申し上げ退任の
 ご挨拶いたします。